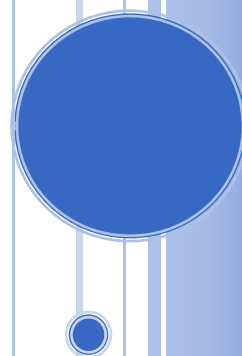


第2回始良市まちづくり 50人委員会 結果報告書

平成29年9月30日開催

企画部 企画政策課



第2回始良市まちづくり 50人委員会 結果報告書

開催日時:平成29年9月30日(土) 10時15分～12時

開催場所:イオンタウン始良 西街区2階 タウンホール

参加者:31名

委員会日程:1. 開会

2. 事務局説明

3. まちづくりカフェの意見の確認

4. 分科会ごとのグループ討議

5. 閉会



会場の様子



まちづくりカフェでの意見を確認する委員

分科会一覧

分科会名称	主なテーマ
住むなら“あいら”分科会	健康づくり、移住定住の促進、地域の活性化、防犯・防災について など
子育てなら“あいら”分科会	結婚・妊娠・出産への支援などの少子化対策、子育て環境の整備、教育環境の整備 など
働くなら“あいら”分科会	農林水産業や商工業の振興、あいらブランドの確立、就業への支援 など
訪れるなら“あいら”分科会	魅力を活かした観光、交通基盤の整備、スポーツ合宿の誘致、まちづくり など

第2回委員会の進め方

事前準備(事務局にて実施)

第1回委員会(平成29年9月2日開催)において、グループワークにて出された意見「**始良市のいいところ**」「**始良市にもっと頑張ってもらいたいところ**」を分科会毎のテーマに沿って分類し、分科会別の模造紙に貼付しておく。

意見のグルーピング

事務局にて準備した模造紙について、貼付されている「意見」の内容を確認し、「自然環境」や「交通」、「施設」などの分野ごとに分類する。

グルーピングした意見に対するグループ討議

グルーピングした意見について、「**始良市のいいところ**」については、「**もっと良くするにはどうしたらよいか**」を、「**始良市にもっとがんばってもらいたいところ**」については、「**どうすれば良くなるか、改善するか**」に対して、分科会のテーマにあった方策をグループ内で話し合い、その方策を付箋紙に書き込み、模造紙に貼付する。

第2回委員会の様子

「住むなら“あいら”分科会」



住むなら“あいら”分科会でのグループワークの様子

グループワーク終了後の模造紙の様子

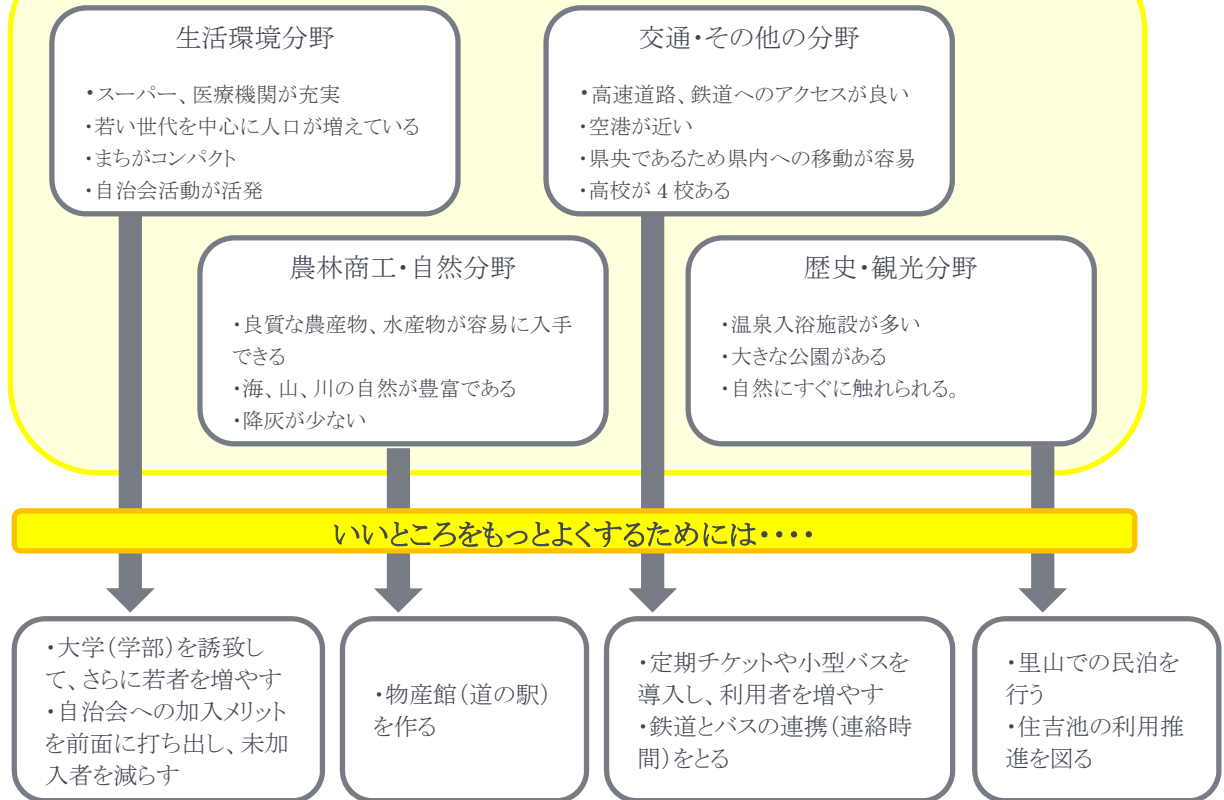


住むなら“あいら”分科会
始良市のいいところ

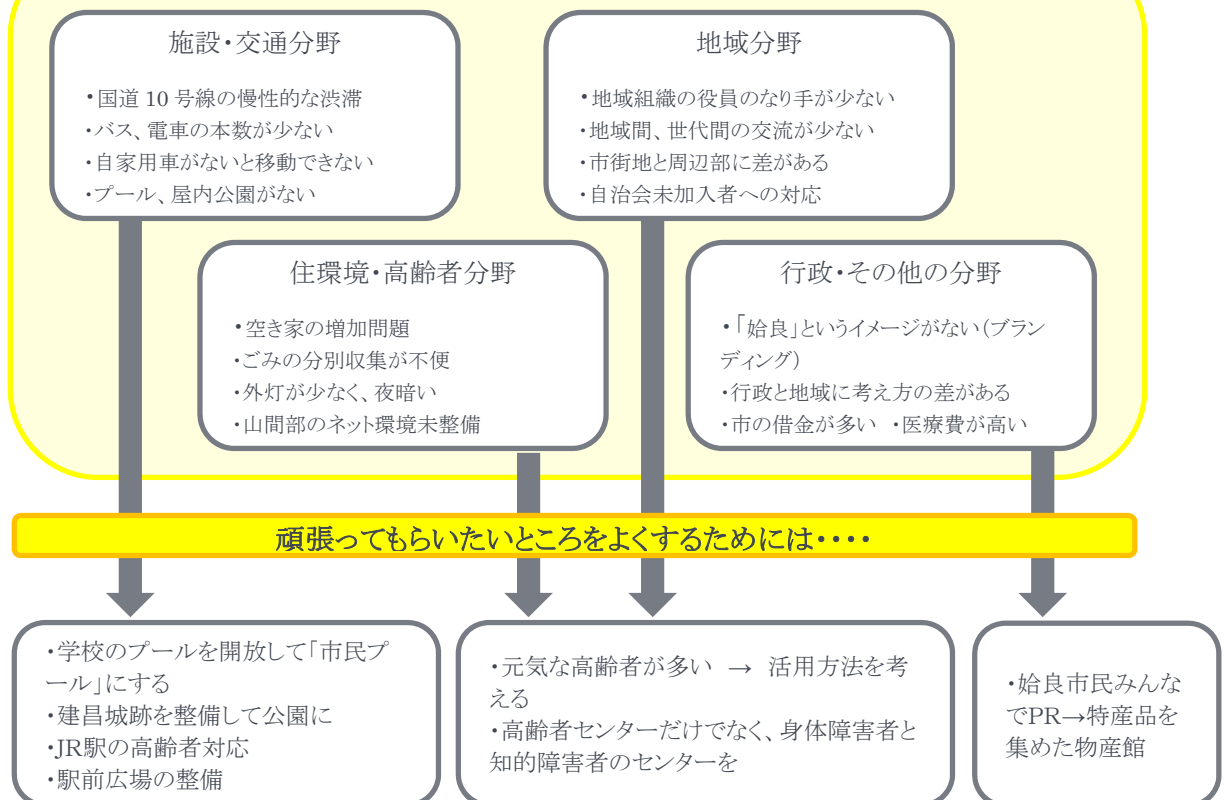


住むなら“あいら”分科会
始良市に頑張ってもらいたいところ

【始良市のいいところ】に対する意見



【始良市に頑張ってもらいたいところ】に対する意見

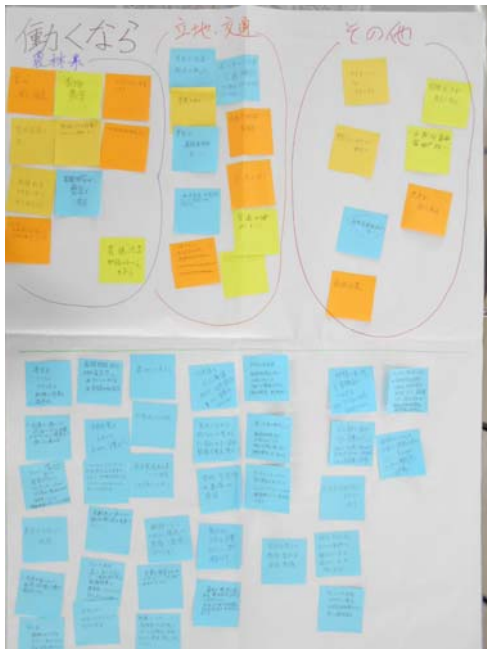


「働くなら“あいら”分科会」



働くなら“あいら”分科会でのグループワークの様子

グループワーク終了後の模造紙の様子



働くなら“あいら”分科会
始良市のいいところ



働くなら“あいら”分科会
始良市に頑張ってもらいたいところ

【始良市のいいところ】に対する意見

農林業分野

- ・有機農業が盛ん
- ・地産地消が豊富
- ・農林水産業がある

立地・交通分野

- ・県央に位置し、物流の拠点
- ・県央に位置し、通勤範囲が広い
- ・空港に近い
- ・交通アクセスが良好

その他の分野

- ・自営業が多く、活気がある
- ・大型ショッピングセンターがある
- ・伝統工芸が有り、国際交流もある

いいところをもっとよくするためには・・・

- ・有機野菜中心の販売イベント、物産館を作る
- ・地元産材を活用する加工業への助成
- ・有機野菜の6次産業、そのための企業興し

- ・空き家を外国人の技能実習生に活用する
- ・海を活かしたインフラ整備で、働きたい人も遊びたい人も呼び込む
- ・元気な高齢者の雇用を促進

- ・空き家、空き店舗の活用
- ・短時間勤務で雇用人数を増やす
- ・国道10号線のインフラ整備(海岸線など)

【始良市に頑張ってもらいたいところ】に対する意見

就職・雇用分野

- ・大学(学部)がない
- ・地元企業の良さのアピール不足
- ・若い人が求める企業の不足

創業・出店分野

- ・交通の便が良い反面、鹿児島市に流出する
- ・商店等が市内でも偏在している
- ・鳥獣害への対策が取れていない
- ・雇用の確保に対する支援が無い

企業誘致・その他の分野

- ・まだ企業が少ない
- ・始良市の「みやげ」がない
- ・地元企業の雇用PRが不足している

頑張ってもらいたいところをよくするためには・・・

- ・鹿児島大学等と連携
- ・研修センターや合宿所の誘致
- ・地方版インターンシップ

- ・企業や宿泊施設を誘致する
- ・県内外の大学と連携して活性化委員会を作り、新しい考え方も模索
- ・地元企業の求人PRの作成に対する補助

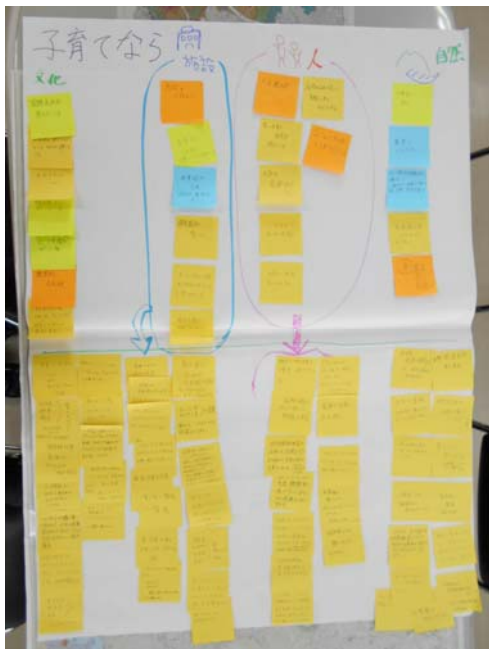
- ・軽トラ市場などを開催して、地元以外を吸引する
- ・既存の商店街の活性化
- ・大学等の研究機関との連携

「子育てなら“あいら”分科会」



子育てなら“あいら”分科会でのグループワークの様子

グループワーク終了後の模造紙の様子

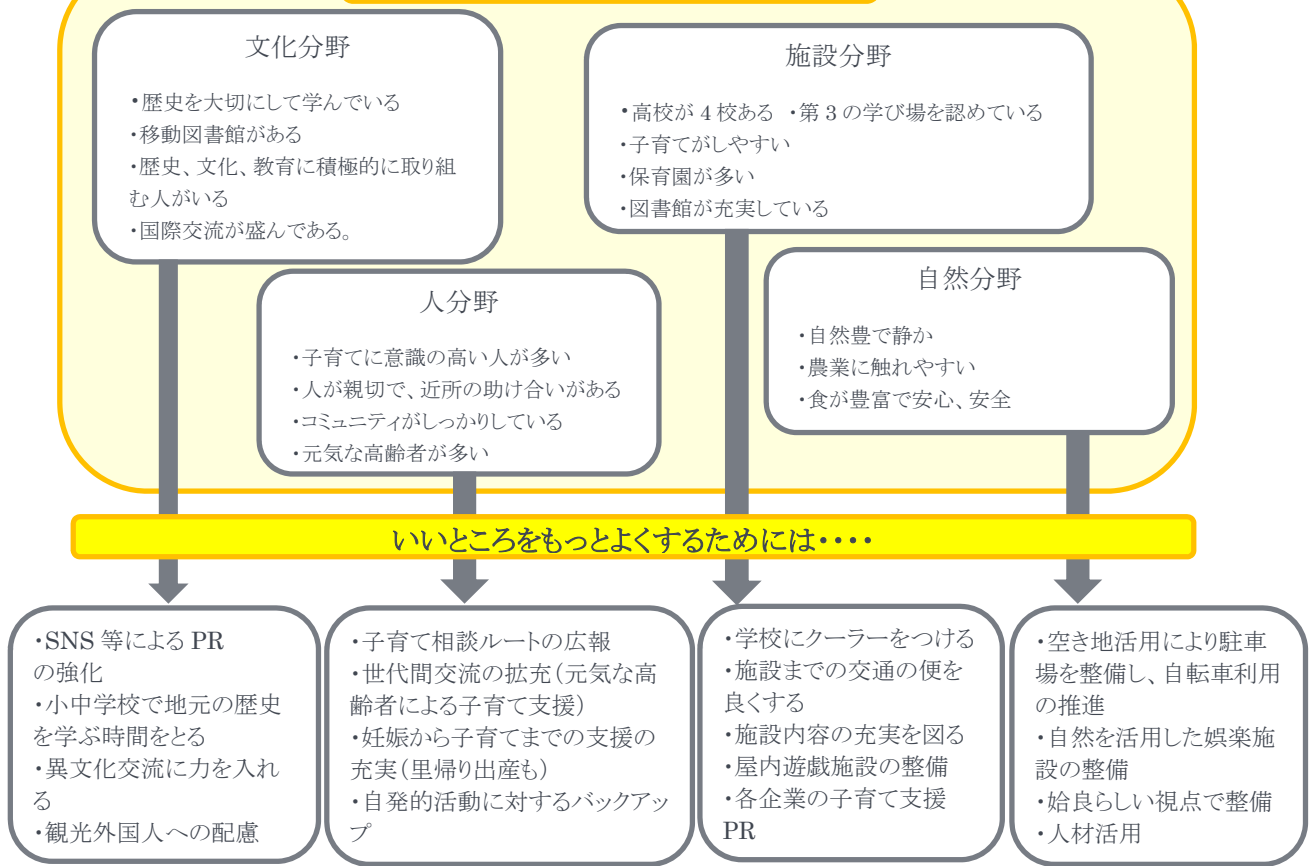


子育てなら“あいら”分科会
始良市のいいところ

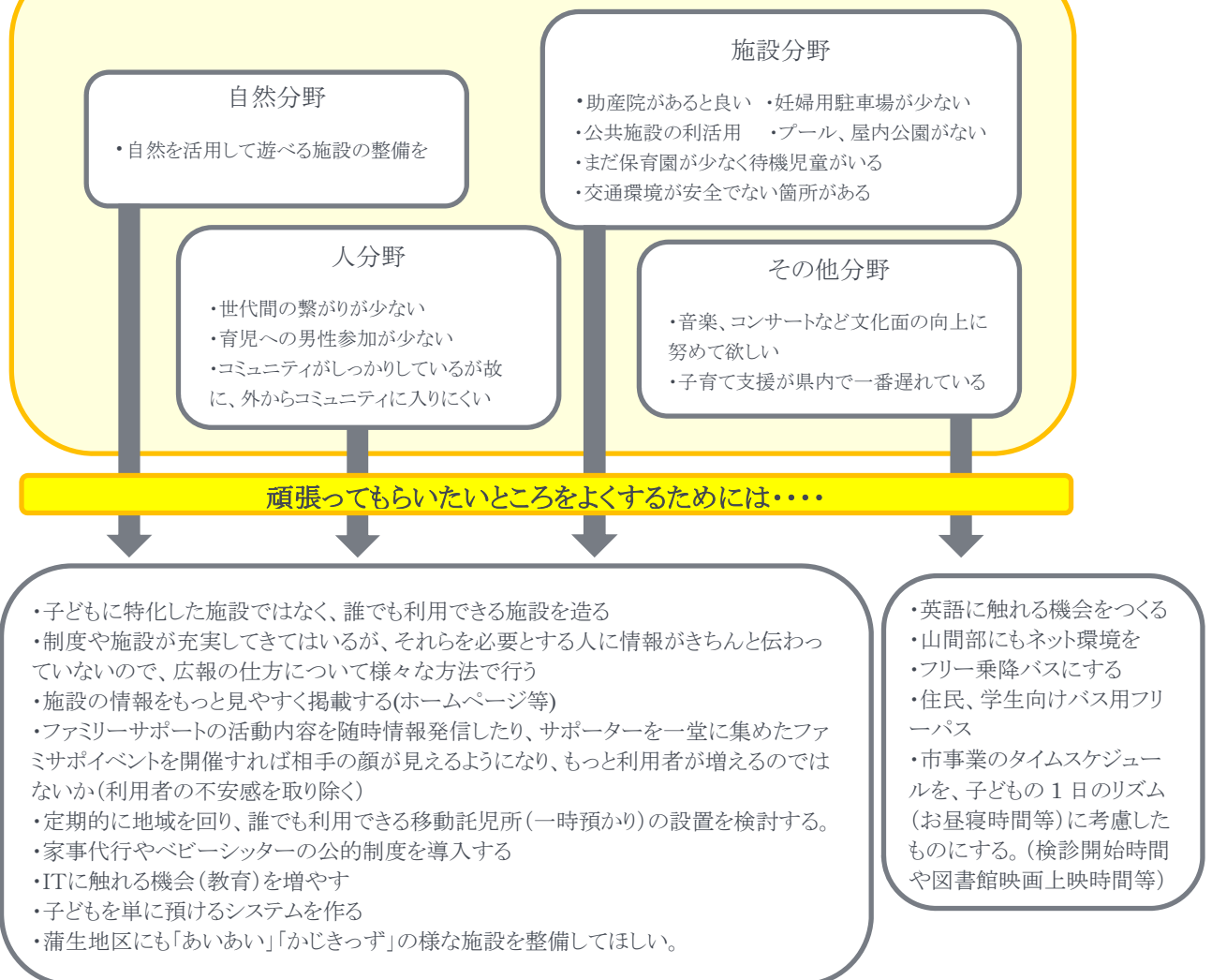


子育てなら“あいら”分科会
始良市に頑張ってもらいたいところ

【始良市のいいところ】に対する意見



【始良市に頑張ってもらいたいところ】に対する意見



「訪れるなら“あいら”分科会」



訪れるなら“あいら”分科会でのグループワークの様子

グループワーク終了後の模造紙の様子



訪れるなら“あいら”分科会
始良市のいいところ



訪れるなら“あいら”分科会
始良市に頑張ってもらいたいところ

【始良市のいいところ】に対する意見

自然・施設分野

- ・海、山、温泉など自然資源が豊富
- ・農業に触れやすい
- ・天文台がある
- ・古民家カフェがある

歴史・史跡分野

- ・名所、旧跡が多い
- ・大河ドラマのロケ地
- ・滝、三坂

交通アクセス分野

- ・交通アクセスが良好
- ・空港が近く、高速もある
- ・空港～始良～駅までがサイクリングコースとして最適

伝統・国際分野

- ・国際交流が盛ん
- ・伝統工芸、郷土芸能が盛ん

いいところをもっとよくするためには……

- ・農業体験ツアーの提案
- ・家庭教育学級の活用
- ・商工会、農協との連携

- ・加治木港を活用して水路交通の整備
- ・サイクリングコースの提案

- ・県内では他にないものとして歴史国道を活用
- ・まずは近県に限定して(ターゲット)PRを展開

- ・市の国際交流協会を作る
- ・外国の方が参加するだけでなく、企画段階から加える
- ・学生サポーターの養成

- ・全体としてPRが不足している → 始良市のいいところを十分に活用できていない
- ・鹿児島市電やJRの車両にラッピング、SNSの活用、イベント実施主体にPR力をつける(とにかくアピールし認知してもらう)
- ・地域ボランティアガイドを養成して、地域の特色や季節ごとの小規模ツアーを林立し、集客するとともに、地域力を向上させる
- ・温泉などの既存資源を組み合わせた小規模ツアーを提案する
- ・若い世代は「インスタ映え」することが重要、学生等のデジタルに長けた世代の力を借り、デジタル発信

【始良市に頑張ってもらいたいところ】に対する意見

自然分野

- ・緑は多いが、ハイキングできる場所は少ない
- ・史跡の整備が遅れている

施設・ハード分野

- ・ホテル、旅館が無い
- ・国道の慢性的な渋滞
- ・道の駅がない
- ・森のある公園が少ない

名物・PR力分野

- ・あいら「みやげ」がない
- ・宣伝が下手
- ・高速道の看板が目立っていない
- ・大クスの知名度が低い

頑張ってもらいたいところをよくするためには……

- ・PR向上のために、観光大使、親善大使にツアーを体験してもらい、PRする。その際、著名人や有名人(川崎選手など)を起用することにより、マスコミの注目を集め、マスコミの力を活用する
- ・あいらびゅー号について、拠点間の移動手段にする日を設け、利用者が自由に散策できる、食事も各自で選べるようにする(まちぶら)
- ・地域、企業、市役所が一緒に話しをする場を設け、既存の特産品を活用したり、新しい特産品を「土産化」する(あらゆる枠組みに「地域」を加える) ・観光客が増えることにより、滞在ニーズが高まり、宿泊施設の誘致につながる
- ・観光看板や誘導表示は統一する(大楠、大クス) ・宿泊施設の不足に対しては民泊を活用
- ・整ったパンフレットよりも、実際に手にとって見てもらう市報、パンフレットを作成
- ・地域の人は地域に誇りを持っており、地域を活用、アピールする自信がある。もっと地域の人(力)を活用すべき